

令和 3 年度

教育に関する事務の管理及び  
執行の状況の点検及び評価  
に関する報告書

(令和 2 年度事業分)

常陸大宮市教育委員会



# 目 次

1	点検評価の概要	
	(1) 趣旨	1
	(2) 点検及び評価の対象	1
	(3) 点検及び評価の方法	1
	(4) 令和2年度に教育委員会が実施した主な事業の点検及び 評価結果	2
2	教育委員会の活動状況	
	(1) 教育委員の選任状況	3
	(2) 教育委員会会議の開催状況	3
	(3) 会議及び研修会等への参加状況	4
	(4) 総合教育会議の開催状況	4
	(5) その他	4
3	個別事業（令和2年度事業）の点検評価結果	5
	(1) 教職員の働き方改革推進事業	6
	(2) 教育支援センター適応指導教室・教育相談事業	7
	(3) 視聴覚ライブラリー運営事業	8
	(4) カルチャープラザ管理運営事業	9
	(5) 文化財保存活用地域計画推進事業	10
	(6) 歴史民俗資料館普及啓発事業	11
4	常陸大宮市教育行政点検評価委員の総合的所見	12

## 1 点検評価の概要

### (1) 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

この度、本市教育委員会では、令和2年度の教育委員会活動状況及び実施した事業について、教育に関し学識経験を有する外部委員の意見を徴し、点検及び評価を実施いたしましたので、本報告書のとおり公表いたします。

### (2) 点検及び評価の対象

点検評価の対象事業は、常陸大宮市教育振興基本計画（後期改訂：平成30年度～令和4年度）の基本施策として実施する事業、常陸大宮市総合計画（実施計画）における令和2年度重点事業及びその他点検評価が必要と認める事業から6事業を選定いたしました。

### (3) 点検及び評価の方法

教育委員会が令和2年度に実施した事務事業を「教育委員会の活動」、  
「教育委員会が行った事業（点検評価対象6事業）」の二つに大別し、点検評価内容の客観性を確保するため、常陸大宮市教育行政点検評価委員規程（平成21年教育委員会訓令第11号）に基づき委嘱した外部委員から事業の点検評価を受け、事業評価に対する意見を求めるとともに、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する所見を求めました。

#### ① 委員会開催日

第1回 令和3年10月19日（火）

行政点検評価対象事業の説明及び事業の選定

第2回 令和3年11月12日（金）

対象事業の点検評価実施、委員の意見集約

② 教育行政点検評価委員（順不同）

- ・栗田 将夫 氏（元茨城県教職員）
- ・安藤 みゆき 氏（茨城女子短期大学教授）
- ・松橋 義樹 氏（常磐大学助教）

（４）令和２年度に教育委員会が実施した主な事業の点検及び評価結果

内部評価			委員による点検評価		
<b>【①事業執行状況】</b>					
	事業数	比率(%)			
A 必要性・効果が高い	4	66.7			
B 必要性・効果がある	2	33.3			
C 必要性・効果がない	—	—			
<b>【②今後の方針】</b>			<b>【評価結果】</b>		
	事業数	比率(%)		事業数	比率(%)
廃止・休止	—	—	廃止・休止	1	16.7
縮小	—	—	縮小	—	—
見直し	2	33.3	見直し	1	16.7
現行どおり	3	50.0	現行どおり	3	50.0
拡充	1	16.7	拡充	1	16.7

※参考：評価結果の考え方

廃止・休止	事業を実施する必要がなくなったもの 別の事業に置き換えていけるもの 事業が終了したもの
縮小	事業内容の見直しを行い縮小が必要なもの
見直し	事業内容の見直しが必要なもの
現行どおり	現状の予算等で事業効果が得られるもの
拡充	事業費を増やすことで事業効果が高まるもの

## 2 教育委員会の活動状況

### (1) 教育委員の選任状況

職名	氏名	任期
教育長	茅根正憲	任期 H30.12.25 ~ R3.12.24
委員	生天目茂	任期 H28.4.1 ~ R2.3.31 R2.4.1 ~ R6.3.31 (教育長職務代理者 R1.10.25 ~ R3.2.22)
委員	諸澤信子	任期 H25.10.20 ~ H29.10.19 H29.10.20 ~ R3.10.19 (教育長職務代理者 R3.2.23 ~ R3.10.19)
委員	星野幸子	任期 H25.2.23 ~ H29.2.22 H29.2.23 ~ R3.2.22
委員	槁本勇夫	任期 R1.12.25 ~ R5.12.24
委員	宮本亜希子	任期 R3.2.23 ~ R7.2.22

### (2) 教育委員会会議の開催状況

月日	区分	議案件数	協議件数	報告件数	選挙件数
R 2年 4月27日	定例会	3	1	3	—
5月18日	臨時会	—	2	—	—
5月25日	定例会	4	1	2	—
6月 2日	臨時会	—	—	1	—
6月25日	定例会	7	1	3	—
7月28日	定例会	5	1	3	—
8月17日	臨時会	—	—	1	—
8月25日	定例会	1	2	2	—
9月 1日	臨時会	—	—	1	—
9月25日	定例会	1	1	5	—
10月26日	定例会	4	—	3	—
11月30日	定例会	5	1	2	—
12月25日	定例会	1	2	4	—
R 3年 1月25日	定例会	1	—	2	—
2月25日	定例会	5	2	4	—

月 日	区分	議案件数	協議件数	報告件数	選挙件数
R 3年 3月15日	臨時会	1	—	—	—
3月25日	定例会	10	2	3	—
合 計					
定例会（12回）		47	14	36	—
臨時会（5回）		1	2	3	—

(3) 会議及び研修会等への参加状況

- ・市町村教育委員会教育長会議
- ・管内市町村教育委員会教育長等会議
- ・県市町村教育長協議会夏期・冬期研修会

(4) 総合教育会議の開催状況

会議日	件 名	参加者
R3年1月25日	(1) 全国学力・学習状況調査について	教育長， 教育委員

(5) その他

- ・学校管理訪問（小学校11校，中学校4校）（参加者：教育長）

月 日	訪 問 先
R 2年 6月10日	大宮西小学校，大宮北小学校
6月16日	大賀小学校，山方南小学校
6月24日	明峰中学校，御前山小学校
6月30日	緒川小学校，美和小学校
7月10日	山方小学校，山方中学校
9月16日	大宮中学校
9月24日	村田小学校，上野小学校
10月28日	大宮小学校，第二中学校

- ・各幼稚園運動会，各小学校運動会，各中学校体育祭（参加者：教育長）
- ・成人式（参加者：教育長）
- ・教育委員会事務局職員辞令交付式（参加者：教育長）
- ・教職員人事異動辞令交付式（参加者：教育長，教育委員） 等

### 3 個別事業（令和2年度事業）の点検評価結果

番号	事業名	所管部署	内部評価	点検評価
1	教職員の働き方改革推進事業	学校教育課	現行どおり	現行どおり
2	教育支援センター適応指導教室・教育相談事業	学校教育課	拡充	拡充
3	視聴覚ライブラリー運営事業	生涯学習課	現行どおり	現行どおり
4	カルチャープラザ管理運営事業	生涯学習課	見直し	廃止・休止
5	文化財保存活用地域計画推進事業	文化スポーツ課	現行どおり	現行どおり
6	歴史民俗資料館普及啓発事業	文化スポーツ課	見直し	見直し

令和3年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

事業番号	1	部課局名	学校教育課	事務事業対象年度	令和2年度
事務事業名	教職員の働き方改革推進事業				
事業の目的	教職員が、心身ともに健康で、高い意欲と専門性を持って教育活動に専念できる環境を整備することにより、学校教育の質の向上を図ることを目的とする。				
事業の概要	<p>市の目標として、令和4年度末までに、全教職員の勤務時間外の在校時間を、          ・1か月あたり45時間以内 ・年360時間以内 と定め、働き方改革を推進する。</p> <p>具体的には、令和2年9月に公表された文部科学省の「教育委員会による学校の働き方改革のための取組状況チェックリスト」で例示された52の取組事項の推進を図る。          (1) 在校等時間の適切な管理と教職員の意識改革の推進          (2) 部活動指導の負担軽減          (3) 学校運営体制と業務改善の推進 等</p> <p>【事業費 1,109千円】</p>				
内部評価結果 (総合評価)	① 事業執行状況(Ⅲ)の評価結果				
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果が高い <input type="radio"/> 必要性・効果がある <input type="radio"/> 必要性・効果がない				
	② 今後の方針				
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止				
点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止				
点検評価理由	<p>【A委員:現行どおり】          教職員の働き方改革の推進にあたっては、文部科学省が示している具体的な項目等について市教育委員会、学校、教職員が積極的に取り組む必要があります。</p> <p>【B委員:現行どおり】          教職員が心身共に健康で、教育活動に専念できる環境を整えることはとても重要であり、継続すべき事業であると考えます。</p> <p>【C委員:現行どおり】          文部科学省チェックリストに基づく52の取組推進は年度途中からの指標設定であることをふまえ、現時点では現行どおりの取組を進めることが点検評価の趣旨からも妥当であると考えられる。          ただし、令和3年度(以降)の予算(見込)額が大幅に増加しており、内部評価において「拡充」ではなく「現行どおり」となっている点について疑問である。</p>				
	主な意見	<p>【A委員】          教職員の働き方改革の取り組みには、学校:現場における職場環境の整備及び教職員ひとりひとりの意識改革も必要と考えます。全校または学年で実施している行事、部活動、地域、各種団体等からの連携依頼についても取り組みの改善が必要と思います。</p> <p>【B委員】          学校が抱える課題が複雑化・多様化している中で、多くの教職員が疲労や心理的負担を抱えながら業務を行っているが、そのような状況を改善していくことが、子どもたちのメンタルヘルスの安定にもつながると考える。形式的な働き方改革ではなく、実質的に教職員の負担が軽減する改革が進むことが望ましい。</p> <p>【C委員】          活動指標については令和3年度において全項目の達成が現実的に可能であるのか、難しいとすれば最低限どの程度の達成を目指すべきなのか、見直しをもって計画的な取組をお願いしたい。          働き方改革については勤務環境の整備と教職員の意識改革の両面での推進が不可欠であり、意識改革を進めるための取組の充実をお願いしたい。</p>			

令和3年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

事業番号	2	部課局名	学校教育課	事務事業対象年度	令和2年度
事務事業名	教育支援センター適応指導教室・教育相談事業				
事業の目的	適応指導教室の運営や教育相談を通して、教育に関する相談に応じ、不登校児童生徒への援助及び指導の充実を図る。				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適応指導教室の運営(カウンセリングや体験活動)</li> <li>・適応指導教室の・幼児・児童生徒の教育上の諸問題についての教育相談(電話相談・来所相談)</li> <li>・通級生・保護者に対する支援</li> <li>・教職員に対する支援</li> <li>・学校訪問(支援方針の検討・調整)</li> <li>・ケース検討会</li> <li>・記録文書・報告書の作成</li> <li>・専門研修会の企画・実行</li> </ul> <p>【事業費 9,042千円】</p>				
内部評価結果 (総合評価)	① 事業執行状況(Ⅲ)の評価結果				
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果が高い <input type="radio"/> 必要性・効果がある <input type="radio"/> 必要性・効果がない				
	② 今後の方針				
点検評価委員による評価結果	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止				
	点検評価結果	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止			
	点検評価理由	<p>【A委員:拡充】 教育支援センターの業務内容が多岐にわたり、また教育相談事例の複雑化、相談件数の増加からも重要な事業と考えます。</p> <p>【B委員:拡充】 児童生徒・保護者の多様な悩みや相談に対応する教育支援センター適応指導教室・教育相談事業は、ニーズが高く、拡充すべき事業である。</p> <p>【C委員:現行どおり】 事業の必要性の高さは明らかであり、拡充すべき事業であると考えられる。ただし、評価書を拝見する限り、拡充に該当するのはカウンセラー(専門家)の追加配置という点であると思われるが、令和3年度の予算額からして追加配置が可能であるのか判断できかねた(県からの補助金でまかなうという趣旨であれば理解できるが、そのめどが立っているのか評価書の範囲ではやはり判断できかねた)ため、結果として現行どおりとならざるを得ないのではないかと。</p>			
主な意見	<p>【A委員】 相談件数の増加、相談内容が複雑化していることから、悩みを持つ児童・生徒、保護者への支援は大切であります。また解決にあたっては学校との連携も重要であります。高度な事例については、専門機関と積極的に連携を行うなどして早期解決に努めていただきたい。</p> <p>【B委員】 不登校や発達障害の問題は、深刻さを増している。児童生徒が、心理社会的に適応できるように、家庭と連携しながら専門的に支援していくが望まれる。また、民間・国・県の関与を拡大すべき事業であると考えます。</p> <p>【C委員】 不登校児童生徒への支援の充実はいまでもなく重要であるが、その手前(予備軍)と考えられるケースなどに対して相談業務を通じてどのような状況改善が期待されるのか、より具体的な検討をお願いしたい。</p>				

令和3年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

事業番号	3	部課局名	生涯学習課	事務事業対象年度	令和2年度
事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事業				
事業の目的	市内の学校・社会教育施設(公民館等)・教育文化団体(子供会等)に対し、視聴覚機材(プロジェクター・スクリーンなど)や教材(ビデオ・DVDなど)を無料で貸出し、常陸大宮市の視聴覚教育の普及を図る。				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚資料(DVD・ビデオテープ等)を計画的に購入し、資料及び機材を整備・管理する。</li> <li>・利用を促進するため、ライブラリー事業について、市民に広くPRする。</li> <li>・職員及び運営委員に対し、視聴覚機材の操作(方法)の研修を実施する。</li> <li>・常陸大宮市視聴覚ライブラリー運営委員会の開催(年2回)により、事業の検討推進を図る。</li> <li>・シネファン21ボランティアとの連携に努め、利用促進を図る。</li> </ul> <p>【事業費 360千円】</p>				
内部評価結果(総合評価)	① 事業執行状況(Ⅲ)の評価結果				
	○必要性・効果が高い    ●必要性・効果がある    ○必要性・効果がない				
	② 今後の方針				
	○ 拡充    ● 現行どおり    ○ 見直し    ○ 縮小    ○ 廃止・休止				
点検評価結果	○ 拡充    ● 現行どおり    ○ 見直し    ○ 縮小    ○ 廃止・休止				
点検評価委員による評価結果	点検評価理由	<p>【A委員:現行どおり】 学校や社会教育施設等で使用する新しい視聴覚教材の収集及び貸し出しについては、学校の学習支援並びに活動団体の活性化に寄与している事業と考えます。</p> <p>【B委員:現行どおり】 昔の貴重な映像や入手困難な資料もあり、今後も事業を継続し、管理運営していく必要がある。</p> <p>【C委員:現行どおり】 コロナ禍での貸出件数・参加人数の減少はやむを得ないことであり、そのことを考慮すると現行どおりという評価が妥当であると考えられる。 ただし、令和3年度も引き続きコロナ禍での事業運営が求められる中、従来とは異なる方策での事業運営を実現していく必要があるのではないか。</p>			
	主な意見	<p>【A委員】 本事業のさらなる活性化並びに視聴覚資料の収集や教材の安全な活用にあたっては、知的財産権、肖像権、プライバシーの保護に関する権利処理等の知識と技術が必要となり、それらを養成するデジタル・アーキビスト有資格者の育成をお願いします。</p> <p>【B委員】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年度の事業展開は困難なものであったと思う。しかし今後は各団体が利用しやすいようにDVDの目録など作成して、市民に身近な事業として展開していくことを期待している。</p> <p>【C委員】 視聴覚メディアのトレンドが大きく変化している状況において、視聴覚ライブラリーに今後どのような役割が求められるのか重点的な検討をお願いしたい。</p>			

令和3年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

事業番号	4	部課局名	生涯学習課	事務事業対象年度	令和2年度
事務事業名	カルチャープラザ管理運営事業				
事業の目的	国際交流, 社会教育等の振興に寄与することを目的として設置された山方カルチャープラザにて, 英会話講座を開講する。				
事業の概要	<p>①前年度に実施したアンケートの結果を基に, 講座の内容を講師と相談の上決定。                  ②前年度末(3月)にお知らせ版にて開講案内を周知, 受講生を募集。                  ③新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い, 10月開講に延期。                  ④8月お知らせ版にて, 再周知, 再募集。                  ⑤10月～12月に月4回開講(例年は6月～12月, 8月を除く月2回開講)</p> <p>【事業費 551千円】</p>				
内部評価結果 (総合評価)	① 事業執行状況(Ⅲ)の評価結果				
	<input type="radio"/> 必要性・効果が高い <input checked="" type="radio"/> 必要性・効果がある <input type="radio"/> 必要性・効果がない				
	② 今後の方針				
点検評価委員会による評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input checked="" type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止				
	点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 廃止・休止			
	点検評価理由	<p>【A委員:廃止・休止】 生涯学習課山方分室において, 山方カルチャープラザを会場に本事業を実施していますが, 英会話を行っている講座としては公民館講座と類似しており, 本事業は公民館講座へ移行するなどし, 休止してもよいのではないのでしょうか。</p> <p>【B委員:見直し】 英会話講座は, 市民の教養の向上, 生涯学習の推進, 国際交流の推進のために必要とする事業であるが, 会場として, カルチャープラザが適当であるかどうかの見直しが必要であると考えます。</p> <p>【C委員:廃止・休止】 評価書に「カルチャープラザの用途の廃止を検討する。」と記載されており, 本事業が「カルチャープラザ管理運営事業」であることを考慮すると, 「廃止・休止」という扱いが妥当でないかと判断される。</p>			
主な意見	<p>【A委員】 国際交流の視点から有効な講座と思いますので, 公民館と連携し各公民館講座に位置づけての実施も考えられると思います。</p> <p>【B委員】 英会話講座そのものは好評であるとのことから, 他の会場に変更し, カルチャープラザを廃止することにより, 施設管理のコストの削減をすることが望まれる。</p> <p>【C委員】 英会話講座をカルチャープラザ事業から公民館事業へ移行するにあたり, 内容や形態を見直すなどの対応が必要かどうか, 検討をお願いしたい。</p>				

令和3年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

事業番号	5	部課局名	文化スポーツ課	事務事業対象年度	令和2年度
事務事業名	文化財保存活用地域計画推進事業				
事業の目的	まちづくりに文化財行政からアプローチし、文化財の保護及び、地域を活性化させる新たな好循環のエネルギーとなって、子どもたちへ引き継がれていくことを目指し、市民と協働した「郷育」による文化財地域資源の活用促進と地域プライドの創造を目的とする。				
事業の概要	<p>文化財等地域資源の把握、調査研究・修復・指定等による磨き上げ、情報発信・教育普及・活用を、庁内他部署や外部の専門家、市民等と協働して実施し、文化財地域資源の活用促進や地域プライドの創造へと発展させる。</p> <p>【事業費 324千円】</p>				
内部評価結果 (総合評価)	① 事業執行状況(Ⅲ)の評価結果				
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果が高い <input type="radio"/> 必要性・効果がある <input type="radio"/> 必要性・効果がない				
	② 今後の方針				
点検評価委員による評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止				
	点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止			
	点検評価理由	<p>【A委員:現行どおり】 市内に現存する文化財を把握し、それらの保存活動等は文化財保護の視点からも大切であり、また後世に引き継がなければならない重要な事業と考えます。</p> <p>【B委員:現行どおり】 文化財の保存活用により、市民が常陸大宮に住んでいることが誇りと思えるような「地域プライドの創造」に必要な事業であり、今後も継続すべきと考える。</p> <p>【C委員:現行どおり】 令和2年度に文化庁の認定を受けた計画における各事業の着実な実施という点から、現行どおりという評価が妥当であると考えられる。</p>			
主な意見	<p>【A委員】 現存する文化財の保存等には、多額の経費を要し予算面からも大変な部分があると思います。保存にあたっては、計画的な作業をお願いします。また散逸や消失してしまう前に映像(デジタル化)保存もひとつの方法と考えます。</p> <p>【B委員】 身近な文化財を自分たちが主体となって守るといった市民の意識啓蒙や民間の関与の拡大を検討されることが望まれる。</p> <p>【C委員】 計画に記載された各事業の実施およびその成果としての「地域資源の活用促進」さらには「地域プライドの創造」を目的とする上で、令和3年度以降の活動指標・成果指標の設定内容が極めて重要であると考えられるため、重点的な検討をお願いしたい。</p>				

令和3年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

事業番号	6	部課局名	文化スポーツ課	事務事業対象年度	令和2年度
事務事業名	歴史民俗資料館普及啓発事業				
事業の目的	小・中学生, 市民の要望に沿い, 郷土の歴史や民俗を学習する機会を提供し, 資料館にある郷土史料や映像などを有効に利活用して理解を深め, 地域理解や郷土愛の醸成に寄与する。				
事業の概要	<p>学校向けに「授業に役立つ資料館～歴史民俗資料館ご利用のしおり～」を毎年度作成・配付しているほか, 市ホームページにおいても郷土の歴史について紹介するなど資料館のPRをしている。</p> <p>【事業費 56千円】</p>				
内部評価結果 (総合評価)	① 事業執行状況(Ⅲ)の評価結果				
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果が高い <input type="radio"/> 必要性・効果がある <input type="radio"/> 必要性・効果がない				
	② 今後の方針				
点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input checked="" type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止				
	点検評価理由	<p>【A委員:見直し】 歴史民俗資料館の利用しおりの作成・配付は, 小・中学生の授業や市民への啓発活動に有効であります。</p> <p>【B委員:見直し】 多くの市民に郷土や文化について理解を深めてもらえるように, また, 児童・生徒の郷土理解や学習意欲を高めるために必要な事業である。しかし山方館及び小祝分館を利用する事業についての見直しが必要となる。</p> <p>【C委員:見直し】 廃止予定の施設を利用する事業の見直しを必要とするという点から, 見直しという評価が妥当であると考えられる。</p>			
		<p>【A委員】 児童・生徒の授業効果を高める一助として, 歴史民俗資料館の果たす役割は大きく, 学校と連携した教育活動を推進していただきたい。</p> <p>【B委員】 「郷育立市」の理念は重要であり, 児童・生徒の郷土理解や学習意欲を高めるために, 資料館が利用しやすいように今後も工夫を重ねていくことを期待している。</p> <p>【C委員】 本事業は「普及啓発事業」であるが, 評価書を拝見すると普及啓発を指すのか施設を活用した教育活動を指すのか判断しかねる箇所が見受けられるため, 事業の方向性について整理をお願いしたい。</p>			
主な意見					

令和3年度常陸大宮市教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検  
及び評価（令和2年度事業分）に関する所見

常陸大宮市教育行政点検評価委員 栗田 将夫

1 教育委員会の活動状況

教育委員会事務局からの活動内容の資料並びに説明より、事業業務が適正に執行されています。

2 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会が管理・執行すべき事務事業につきまして、適正に執行されています。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

教育長に委任された事務事業につきまして、適正に執行されています。

新型コロナウイルス感染症予防対策の対応において、事業の見直しを行っての実施となっていることと思いますが、円滑な事業の実施を期待しております。

令和3年度常陸大宮市教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検  
及び評価（令和2年度事業分）に関する所見

常陸大宮市教育行政点検評価委員 安藤 みゆき

1 教育委員会の活動状況

教育委員会の活動状況について、点検評価をさせていただきました。適正に進められていると評価いたします。

2 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会が管理・執行すべき事務について、適正に管理執行されていると評価いたします。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

教育委員会が管理・執行を教育長に委任されている事務について、適正に執行されていると評価いたします。

令和3年度常陸大宮市教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検  
及び評価（令和2年度事業分）に関する所見

常陸大宮市教育行政点検評価委員 松橋 義樹

1 教育委員会の活動状況

教育委員会の活動について、適正に進められている。

従来からの教育課題に加え、いまだ新型コロナウイルス感染症への迅速かつ適切な対応が求められている状況において、市長部局や企業・団体と連携しつつリーダーシップを発揮して活動していただきたい。

2 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会が管理・執行する事務について、適正に進められている。

引き続き、事務の効率化と質の向上の両立に努めていただきたい。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について、適正に進められている。

教育委員会が管理・執行する事務と同様、引き続き、事務の効率化と質の向上の両立に努めていただきたい。